

# 平成28年度 学校評価実施報告書

## 2 2回目評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>個別評価項目の設定及び各項目にねらいを定めた取組の計画・実施</li> <li>取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定</li> </ul>			
分野	評価項目	(1回目評価を踏まえた) 年度末までの取組	(取組結果を検証する) アンケート項目・各種指標
確かな学力	基礎的基本的な学習内容の習得と授業力向上	学習のねらいの明示まとめの時間の確保	教科の授業は(全体的に)わかりやすかった。【特にわかりやすかった教科は、わかりにくかった教科は。】 学習確認プログラムの経年データ
	図書館教育の推進	朝読書の定着 全教科図書館を利用した授業の実施	あなたにとって、朝読書は役に立っていますか? 図書館教育推進委員会の考
	家庭学習習慣の定着	週末課題の提供と点検	あなたは家庭学習を頑張っていますか? 子どもたちは家庭学習をよく行っている。
豊かな心	道徳教育の推進	道徳の時間の確保と全校道徳の実施 行動目標実践の呼びかけ	実施時間数、事後感想文や日常観察より考察 仲間の良いところを見つけようと努力した。仲間を大切にした。等
	生徒会活動の活性化	東北(福島)支援プロジェクトの実施。	活性化プロジェクトチームによる考察
	学校行事に対する積極的な関わり	学校祭(体育大会・文化祭・合唱コンクール)の取組の工夫	学校・学年行事は楽しかったか。 楽しかった、楽しみにしている行事は何ですか。 事後反省アンケートより考察
健やかな体	基本的生活習慣の確立	校門や教室の登校指導と健康新聞の情報発信	日常観察より考察 保健室より、保健委員会新聞の発行回数
	部活動の活性化	キャブテン会議の指導 活動状況の情報発信	日常観察より考察 各種大会の競技成績
独自の項目	小中一貫教育の推進	小中合同研修会・公開授業・オープンスクール等の実施	小中連携主任会による考察
	環境・美化活動の推進	PTAによるボランティア活動の実践	各種活動への参加数 PTA役員会等の考察
	情報発信の充実	積極的なホームページ更新 学校だより・学級通信の発行	ホームページのアクセス数 学校の教育方針や教育活動など が学校だより・学級通信・HP等によくわかる



自己評価	
評価日	平成29年2月20日
評価者・組織	学校評価委員会 (運営委員会が兼任)
アンケート実施結果、その他指標の結果について整理	分析(成果と課題)
生徒評価はH27度後期比較で約2%DOWN。GKPIは前年比較(総合)でほぼ同じ。	分析を踏まえた改善策
全国学力・学習状況調査や確口の結果からも本校生徒の学力は比較的高い部類に入るが、確プロの経年変化を見ても校内の取組が一定その効果を上げていると考える。	取組の結果、わかりやすいとする率は全体で約93%であるが、突出して低い教科も依然あり、個別の指導を必要とする。また、ねらいの明示はほぼ達成できているので、今後はまとめの時間確保に注力していきたい。また、家庭学習の中の週末課題については、与える量や内容を工夫したい。図書館教育については一定の定着と成果が表れ始めたと考えられるがさらに深めたい。
生徒評価は一昨年度10%UPの伸びがあったため今回は約2%UPにとどまつた。授業は現在も進捗中。	道徳の時間も全体として意識されている。また、日頃の行動目標実践の呼びかけも定着し、効果が表れきっている。
生徒評価はH27後期比較で約3%UP。保護者評価は約2%DOWN。生徒と保護者の意識の差はかなりある。	道徳の時間の丁寧な事前準備を心掛ける。生徒会活動・学校行事では、さまざまな考えが聞けた。昨年のミナソラとの協働でボランティア精神も身についたのか熊本地震の募金活動も自発的に生徒会から呼びかけ、参加者も多かった。
生徒評価はH27後期比較で約2%UP。大切にした率は約92%。全校道徳2回実施。時数も充足している。	体育大会や文化祭の発表などは目を見張るものがある。この姿は先生方の努力が形になって出てきたものだと思う。
熊本地震募金活動への参加数。また、校内募金への生徒の関心は高い。生徒評価はH27後期比較でほぼ同じ。	昨年の東北支援プロジェクトの影響から、生徒からの自発的な熊本地震募金活動が始まった。学校行事の取組を通して、集団に対する意識やその中の自己認識の高まりが感じられる。
遅刻者数 保健室だより、保健委員会新聞とも月1回を基本に発行	生活習慣の確立と直結する「遅刻」は、ほぼ解消された。また、保健衛生関係の啓発活動も行っている。
月1回の実施と振り返りシートの記入。掲示板や校門の掲示物による刺激は大きいと考える。	PTAや地生連との連携の中で保護者の協力促し、家庭教育力を高めていく。部活動では、リーダー育成と頸彰・情報発信を積極的に行なうことで盛り上がりを見せている。
小中合同取組の実施回数と内容	小中一貫教育は、さまざまな形での体制はできているが、各校の行事等の事情で実際に人的交流ができる場面は限られている。
クリーンキャンペーン、落ち葉ひろいなどの生徒との共同活動	環境・美化活動では、PTAの協力を求めており、昨年と比較すると保護者の参加はかなり増えた。
日平均300~400のアクセス数 学校だより配布総数1600	環境・美化活動は、生徒の意識を高め、学校全体として取り組めるものをつしていく。
情報発信は、管理職を中心にホームページの更新・学校便りの発行など、積極的に行なっている。	情報発信は、HPや学校便りは、画像、図、テキストなどを工夫し、さらに伝わりやすいものをめざす。

学校関係者評価	
評価日	平成29年3月21日
評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 (校評議員)
学校関係者による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策
授業参観などで様子を見ているが、どの学年も本当に落ち込んでいる様子がうかがえる。	家庭学習についてはどうしても親の希望が強すぎて子どもとのギャップが出るのだろう。今の様子を見ていると頑張っている子がほとんどだと感じる。様々な話はうわさを信じるのではなく、自分の目で確かめるのが一番確かである。学校行事に足を運ぶよう地域住民に働きかける。
・体育大会や文化祭の発表などは目を見張るものがある。この姿は先生方の努力が形になって出てきたものだと思う。 ・登下校も含め、みんながよく挨拶をしてくれるようになつた。後ろからでも声をかけてくれる。	・公開授業や学校行事などに参加して中学校と交流を持つことも大切にしたい。 ・6~7年前と比べ本当に落ち込んでいる。積極的に声かけるよう、地域にも呼び掛けていくが、子どもたちも挨拶してくれている。
・基本的な生活習慣は家庭教育の問題である。朝、子どもをどのように送り出しているのだろうか。	・保護者自身が困りをもつている場合、相談できるような地域のサポート体制が必要ではないか。
・PTAの方は緊急時対応として携帯メール配信をしているようだが、そういう情報が地域の者にも情報が入った方がよいのではないか。	・防災の観点からも地生連のメンバーは登録して協力体制が取れるようにしたい。 ・青バトなどで随時重点箇所を巡回している。また学校の情報は地域も回覧等で回せるように協力する。

## 3 総括・次年度の課題

・学校図書館を活用した授業はかなり定着してきた、今後、主体的で対話的な深いまなびとなるよう改善していきたい。

・道徳の授業だけにとどまらず、普段の日常生活の中にも生かされる道徳となるように進めていきたい。

・学校評価のアンケート項目の見直し、小学校との内容の連続性、アンケート協力者数を増加させる方策などを具体的に検討する。

・道徳教育を